# 2022年度事業の実績

## 教育研究組織の改編、新増設

の三年目として事業計画を実施しました。 第三期中期計画(2020~2024年度)

ラムの実施、国際コミュニケーション科のコー ス制の変更を行いました。 育及び国際コミュニケーション科の新カリキュ 完成年度を迎えました。短期大学では、共通教 大学では、看護学部と大学院看護学研究科が

## Ⅲ 教育活動について

## 〈建学の精神の実現〉

教育を進めるともに、アドヴェント(待降節) の精神」の学びを生活にも生かしていけるよう ンパスミサ、教職員研修会などを行い、「建学 神関連科目の必修化、清泉講座、静修会、キャ 持、地域への浸透を目指しています。建学の精カトリック校としてのアイデンティティの維 の集いなどを通して学外へも伝わるよう努めま

### 〈大学の教育〉

### ① 教育の質保証

検証システムを展開しました。 を用いてディプロマ・ポリシーを定期的に評価 クアンケートを実施し、「身につける7つの力」 する仕組みを稼働させ、学習成果の達成を図る 授業改善アンケート及び学期末のルーブリッ

織運営並びに施設設備等の総合的状況について ② 人間学部2学科の教育 度大学認証評価の結果、適格と認定されました。 (一財)大学・短期大学基準協会による令和4年 このようなPDCAに基づいた教育研究、組

ラムを作成し、「多文化理解領域」と「ことば・ ら試験的に開設すべく準備を行いました。 て、カウンセリングセンターを2023年度か 英語コミュニケーションコースは新カリキュ 心理コースは公認心理士課程の充実にむけ

員に加え、新たな資格として図書館司書資格導 入の準備を進めました。 文化学科では学科の魅力を高めるため、学芸

える化を図りました。

教育領域」を明示してコースの特徴と魅力の見

# ③看護学部看護学科・助産学専攻科の教育

義、 8、実習等)を行いました。看護学部では、看設置認可申請に沿って、着実な授業の運営(講

> 化し、第1期生全員が看護師国家試験に合格し護師国家試験の合格率を高めるための対策を強 員が助産師国家試験に合格しました。 ました。助産学専攻科の修了生も2年連続で全

## ④大学院看護学研究科の教育

の開設に着手しました。 究コース(院内教育リーダー養成プログラム) て、従来の修士論文コースに加え、特定課題研 大学院生にとって魅力あるカリキュラムとし

### 〈短大の教育〉

### ① 教育の質保証

リシーに対応した「学習成果」の獲得状況につアセスメント・ポリシーを踏まえ、3つのポ ました。 いて具体的な指標に基づき、評価・検証を行い

### ② 幼児教育科

成の機器備品や教材の計画的な充実」「幼稚園 教諭二種免許状の教職課程についての再改定 に着実に取り組みました。 て、授業改善、成績評価の適正化」「保育者養 事業計画「学習成果の獲得状況の確認を通し

## ③ 国際コミュニケーション科

ました。 ジメント実務士の取得を可能にする授業を行い ました。上級情報処理士、上級秘書士(国際秘 科目選択ができるようにガイドラインを策定し 書)に加え、上級ビジネス実務士(国際ビジネ ス)、上級秘書士(メディカル秘書)、環境マネ 新カリキュラムをスタートさせ、より幅広く

#### 〈国際交流〉

ニャン女子大学から3名の留学生を受け入れまストラリア(2名)を派遣し、また、韓国のハ 留学生として韓国(8名)、カナダ(1名)、オー ログラムを実施しました。秋学期はセメスター 夏休みは、主に5つのオンライン語学研修プ

## Ⅲ 教員の研究活動について

見送りましたが、学術交流は研究倫理をテーマ ことができました。 に対面と遠隔方式の併用で2年ぶりに開催する 共同研究発表会は感染症の影響により開催を

見直し、研究支援業務の効率化を図りました。 法の多様化等により、研究費執行の手続き書式を 教員数の増加や学術領域の拡大、研究費支払方

## Ⅳ 学生生活の支援について

#### 1 奨学金制度

を行いました。 告知、募集活動を積極的に実施し、経済的支援 につなげました。とくに、国の修学支援制度の 各種奨学金制度を分かりやすく周知し、募集

#### ② 通学支援

しました。公共のバスを利用する学生には、定クロバスを運行し、夕方もマイクロバスを運行 期券購入代の補助を継続して行いました。 1・2限目に三才駅からスクールバスとマイ

#### ③ ケア体制

の講座等)を年2回開催し、下宿学生が安全に 生の安全確認、各種の情報提供を実施しました。 かな学生支援に努めました。一人暮らしの生活 生活できるよう支援しました。 講座(生活上の防犯対策、保健室から健康管理 し、退学者の防止、個々の学生に合わせた細や 欠席調査を行って早期に教職員で情報を共有 メール連絡網システムにより、災害時のほか学

## ④ キャリア支援(就職活動支援)

喚起、自立心の向上に役立てました。 と連携を図り、個々の学生に応じた効果的な就キャリア担当教員、他部署と学生情報の共有 職活動を行いました。ガイダンス、セミナーの 開催、キャリア系授業との連携、インターンシッ )の推進を行い、職業意識の形成と学習意欲の

外部機関との関係強化、情報収集を行いました。 、特色を生かした新しい領域の企業・医療機関・ 既存の学部学科に加え、文化学科・看護学科

# V 保護者、地域との連携について

## ①保護者・卒業生との連携

らせしました。 回)を発行し、学内外での活動のようすをお知 決で行いました。また、『カレッジ通信』(年二 保護者には、泉会(保護者会)総会を書面議

施して学内の取り組みの参考にしています。 ト調査(就業状況、学生生活の感想など)を実 卒業生(卒業後三年経過者)を対象にアンケー

### ②地域との連携

256名の社会人や学生がより高度な学びを深ク講座」、「専門職講座」を開講し、計25講座 座は18講座を開講しました。「SJCアカデミッ 講座は19講座187名の参加者があり、出張講 めることができました。 地(知)の拠点として生涯学習を展開、公開

きく制限されましたが、延べ132名が参加し、 地域に貢献しました。 学生ボランティアは、感染症のため活動が大

## VI 学生の募集・受け入れについて

催。外部の進学ガイダンスは65会場に参加しま インの併催で8回、入試説明・相談会を4回開 学内ではオープンキャンパスを対面とオンラ

となりました。2024年度入試改定および 成果につなげましたが、各学科の一般選抜にお 2025年度新教育課程対応入試計画の検討を すすめ、新高校2年生に向けた情報発信を開始 いて志願者を減少させたことは引き続きの課題 て総合型選抜、学校推薦型選抜の募集に注力し しました。 入試制度を改定し、早期での志願者確保とし

## W 施設設備の維持・充実について

を継続して行いました。 器等の更新、照明機器のリニューアル(LED 化)、トイレ洋式化工事など施設設備への投資 ニング等に適した授業を展開するため視聴覚機 上野キャンパスにおいては、アクティブ・ラー

が完成年度を迎えるなかで不足する什器、備品長野駅東口キャンパスにおいては、看護学部 達しました。 類のほか、授業・実習に必要な教育備品類を調

## ₩ 外部資金について

り、前年度を上回る補助金を獲得できました。 を獲得しました。大学と短大は数理・データサイ エンス・AI教育関連の科目を設置したことによ 標で補助金総額に対し+6%(最高評価)の加算 清泉百年プロジェクトの最終年度にあた 経常費補助金では、教育の質にかかる客観的指

円となりました。 2018年度からの寄付総額は78、911千 り、寄付募集活動を積極的に推進しました。

# Ⅳ 管理運営・財政基盤の充実について

動させて確認し、計画達成のため実質的なPD を行いました。実施状況を自己点検評価とも連 CAを展開しています。 整備、働き方改革等に対応した人事・労務管理 共通教育を含む教育課程の見直し、教育環境の を遂行し、教学組織の改革、入学定員の変更、 第三期中期計画(2020~2024年度)

保つことを前提に、予算編成、経費計画を設定 し、財政の安定を図っています。 財政基盤の充実については、教育研究水準を

#### 2022年度 財務の概要について

2022年度の財務の概要につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

財務概要は、学校法人会計基準に定める資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表の3表に基づいて作成されています。また、財産の内容については財産目録によっています。

【収入の部】 (単位:千円)					
法人全体	大 学	短 大			
4,055,674	860,495	330,915			
46,958	13,363	5,163			
206,094	25,872	18,567			
817,449	119,783	86,667			
202,742	119,023	86,471			
605,326	760	196			
0	0	0			
75.129	572	356			
	8	5			
	30.720	7,964			
	-	0			
		29,386			
	-	6,653			
		0,000			
∧ 921 089	-	△ 42,330			
	- '	2,590,564			
		3,033,910			
10,000,000	_ 1,110,010	0,000,010			
		(単位:千円)			
法人全体	大 学	短大			
3,656,743	679,629	303,447			
898,199	255,099	105,627			
411,915	63,500	32,932			
0	0	0			
15,750	0	0			
73,629	6,245	4,523			
44,566	15,962	7,359			
465,899	17,778	△ 9,003			
193,544	11,554	6,411			
_	12,919	5,911			
△ 103,511	△ 11,465	△ 4,993			
4,949,646	△ 2,231,199	2,581,696			
10,606,380	△ 1,179,978	3,033,910			
③ <b>貸借対照表</b> 2023年3月31 E					
注丨合体	十 兴	短 大			
		1,870,346			
		1,673,361			
		1,673,361			
		404			
		2,584,202			
		4,454,548			
20,100,700	- £11,00 <del>4</del>	7,707,040			
注1个件	+ =	短 大			
		108,497			
		34,660			
		143,157			
1,104,111	200,410	143,137			
注 1 △ 4	1 ×	55 土			
法人全体 25,971,633		短 大			
25 U/ 1 5 33	2,709,334	3,129,934			
	A 2 104 074	1 101 457			
1,483,080 27,454,713	△ 3,184,671 △ <b>475,337</b>	1,181,457 <b>4,311,391</b>			
	4,055,674 46,958 206,094 817,449 202,742 605,326 0 75,129 2,167 132,162 11,100 840,734 291,647 — △ 921,089 5,048,355 10,606,380  法人全体 3,656,743 898,199 411,915 0 15,750 73,629 44,566 465,899 193,544 — △ 103,511 4,949,646 10,606,380	4,055,674 860,495 46,958 13,363 206,094 25,872 817,449 119,783 202,742 119,023 605,326 760 0 0 0 75,129 572 2,167 8 132,162 30,720 11,100 0 840,734 66,053 291,647 13,963 - 0 0 △ 921,089 △ 77,578 5,048,355 △ 2,233,229 10,606,380 △ 1,179,978  法人全体 大学 3,656,743 679,629 898,199 255,099 411,915 63,500 0 15,750 0 73,629 6,245 44,566 15,962 465,899 17,778 193,544 11,554 - 12,919 △ 103,511 △ 11,465 4,949,646 △ 2,231,199 10,606,380 △ 1,179,978    法人全体 大学 24,010,396 1,938,105 14,317,898 1,760,840 9,602,724 92,249 89,774 85,016 5,149,094 △ 2,209,969 29,159,490 △ 271,864    法人全体 大学 608,195 125,160 1,096,582 78,313 1,704,777 203,473			

#### [事業・収支報告書概要]

2022年度の事業及び収支決算書については、本学院監事と監査法人による監査を受け理事会・評議員会に諮り、承認を受けています。

事業活動収支計算書においては、事業活動収入 1,502,501 千円 (大学・短期大学合計) になりました。対して事業活動支出は 1,628,808 千円 (大学・短期大学合計) となり、126,307 千円の支出超過となりました。

- \*計算書の表記は法人全体、大学、短期大学別に作成しています。
- \*財産目録に関しては、大学及び短期大学の校地・校舎などの施設設備が同一敷地内で共用しているため合算の表記となっています。

2)	業活動収支計算書	2022年4月	月1日から2023年	年3月31日まで		
				(単位:千円)		
	科目	法人全体	大 学	短 大		
	事業活動収入の部					
	学生生徒納付金	4,055,674	860,495	330,915		
	手数料	46,958	13,363	5,163		
	寄付金	186,944	26,283	18,624		
	経常費等補助金	812,585	119,783	86,667		
	国庫補助金	197,879	119,023	86,471		
教	地方公共団体補助金他	605,326	760	196		
賁	付随事業収入	75,129	572	356		
教育活動収支	雑収入	122,164	30,720	7,964		
収	教育活動収入計	5,299,454	1,051,216	449,689		
支	事業活動支出の部					
	人件費	3,696,667	697,401	294,443		
	教育研究経費	1,336,379	383,186	130,998		
	管理経費	450,448	68,209	35,054		
	徴収不能額等	747	0	C		
	教育活動支出計	5,484,241	1,148,796	460,495		
	教育活動収支差額	△ 184,787	△ 97,580	△ 10,806		
	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	2,167	8	5		
教	その他の教育外収入	0	0	C		
教育活動外収支	教育活動外収入計	2,167	8	5		
動	事業活動支出の部					
外	借入金等利息	0	0	C		
봫	その他の教育外支出	0	0	C		
~	教育活動外支出計	0	0	C		
	教育活動外収支差額	2,167	8	5		
経常	常収支差額	△ 182,620	△ 97,572	△ 10,801		
	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0		
	その他の特別収入	36,128	1,516	67		
	本部負担金収入	_	0	0		
	内部取引(入)収入	_	0	O		
特別収支	特別収入計	36,128	1,516	67		
	事業活動支出の部					
支	資産処分差額	8,702	242	199		
	その他の特別支出	396	246	O		
	本部負担金	_	12,919	5,911		
	内部取引(出)支出		0	0		

	-
4財産目録	2023年3月31日
	2023#37314

9.098

27,030

 $\triangle$  155 590

△ 125,746

△ 281,336

1,750,424

1,483,079

5,337,749

5 493 339

13,991

13,407

△ 11,891

△ 17,777

0

 $\triangle$  109 463

△ 127,240

△ 3,057,431

△ 3,184,671

1,052,740

1 162 203

特別支出計

特別収支差額

基本金組入前当年度収支差額

基本金組入額合計

翌年度繰越収支差額

**当年度収支差額** 前年度繰越収支差額

基本金取崩額

事業活動支出計

(参考) 事業活動収入計 6,110

△ 6,043

△ 16 844

△ 9.622

△ **26,466** 

1,207,923

1,181,457

449,761 466,605

0

(単位:千円) 区 分 法人全体 大学·短大合計 1. 基本財産 14,317,898 3,434,201 175,680.40 (19,834.73) m<sup>2</sup> 土地 7,369,175 422,720 2,524,532 64,611.98(17,078.57)㎡ 441 (75)点 5.944.140 建物 構築物 165,821 30,388 機器備品 5,450 (1,894)点 297,784 164,894 図書 203,162 (91,149)点 540,234 290,935 重面 15 (3)台 744 732 14,841,592 748,483 2. 運用財産 現金預金 4,949,646 350,497 その他 9,891,946 397,986 資産総額(基本財産+運用財産) 29,159,490 4,182,684 1. 固定負債 608,195 233,657 長期借入金 0 233,657 608,195 その他 2 流動負債 1,096,582 112,973 短期借入金 その他 1,096,582 112,973 負債総額(固定負債+流動負債) 1,704,777 346,630 正味 (純財産) (資産総額-負債総額) 27,454,713 3,836,054

\*区分欄の()内は大学・短期大学合計